

宇部のコミュニティ・スクール

保護者や地域との関係性を強める情報発信

コミュニティ・スクール（以下コミスク）の取組みを進めるときに、学校と保護者・地域が子どもの学びや育ちに関わる協働関係を築くことが大切だといわれます。保護者・地域の方の当事者意識を高めるためにも、コミスク活動について意図的に情報発信することは必要だと思います。

そこで、コミスクの情報発信の際、大切にしたいことをいくつか挙げます。

- ① 目ざす児童像や学校教育目標に向けた取組みを行った結果、よりよく変わった子どもの姿や家庭・地域との連携協働の様子を写真や参加者の感想を加えて発信する。
- ② 学校だより、コミスクだより、ふれあいセンターだより、PTA新聞、ホームページ、新聞、ラジオ、TV、SNS等々、多様なメディアを活用してスピーディーに発信する。
- ③ 取り組んだ結果、よかったことやうれしかったこと、関係者への感謝の気持ちを大切にしながら、子ども、保護者、地域のよさや変容を引き出すような情報発信に心がける。
- ④ HPの掲載内容は随時更新し、保護者・地域の当事者意識や参画意識を高める。
- ⑤ 情報発信を通じて、保護者・地域に教育目標と実現に向けた取組みのプロセスを示し、必要などときには協力を求めることができるような関係性を強める。

◎「コミュニティ・スクール」の取組紹介

東岐波小校運営協議会

11月16日の午後、第4回学校運営協議会が開かれました。

当日は、参観日で引き渡し訓練が行われ、運営協議会委員の方も授業を参観したり、引き渡し訓練の様子を見たりしました。

校長室での協議では、子どもたちの主体的に学習に取り組む様子が印象的だったという感想が聞かれました。

会長さんが、「学校は子どもたちのためにがんばっている。今後は、家庭教育の力をどのように高めていくかということが課題である。」と熱く語られました。学校を核とした地域づくりの取組みがさらに前進しようとしていることをうれしく思いました。

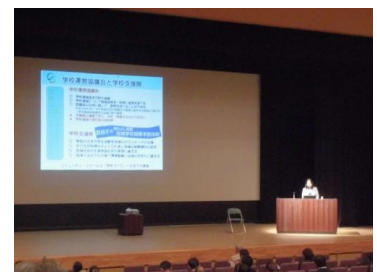


【「きわそうマップ（地域人財・文化財マップ）」試作版や学校・地域連携カリキュラム試作版が紹介されました。社会に開かれた教育課程の完成が待ち遠しいです。】

平成30年度 やまぐち地域連携教育の集い（西部地区）

11月2日、下関市菊川ふれあい会館でやまぐち地域連携教育の集い（西部地区）が開催されました。「ふるさとを愛する心の育成」に関わる実践発表が、下関市立粟野小学校と山口県立豊北・下関北高等学校の2校からありました。学校の教育課程の中に、地域のつながりづくりや人づくり、地域創生を位置づけ、学校を核とした地域づくりを小・高が連携して取り組まれている様子に感心しました。

今回の研修会をきっかけとして、社会に開かれた教育課程が推進されることを強く期待しました。



【徳島県東みよし町立三加茂中学校事務室長 赤松梨江子 様から、「未来の人づくり・地域づくりにつながる“学校・家庭・地域の連携・協働”」の講演がありました。】

コミュニティ・スクールや地域協育ネットに関する情報をお寄せください。

宇部市教育委員会コミュニティスクール推進課 Tel 0836-37-2780

E-mail : ed-shakai@city.ube.yamaguchi.jp